

21世紀への展望を開く ファッショントウン

鬼塚喜八郎〈株式会社アシックス社長〉

木村 豊〈株式会社キムラタン社長〉

河野 忠博〈カワノ株式会社社長〉

――神戸がファッション都市づくりをめざして、九十年が経過しました。また今年（昭和五十八年）中には、かねて建設が進められていたポートアイランドのファッショントウンの一部が稼動を始めます。今回は、ファッショントウンに進出される三社にお集まりいただき、この十年の歩みと、ファッショントウン建設への取り組みなどについて、お話をお願いいたします。

重工業から知識集約型産業への転換に成功した十年

鬼塚 昭和四十八年一月に恒例の政界財界共同の新年合同祝賀会で、故・砂野神戸商工会議所会頭が、神戸をファッション都市にして行こうと提唱をされた。ここから神戸は本格的なファッション都市づくりに向って行くのですが、ちょうどこの時期、四十八年十月に例のオイルショックがあり、高度成長が終わりを告げ、減速経済になって来た。大きな曲角で、知識集約型産業であるファッション都市づくりを提案されたのは、実に素晴らしいタイミングだったと考えます。

その後、ポートピアⅧも大成功に終り、その跡地に、ファッションのモデル地区をつくって行こうという構想

が、現在、着々と実りつつあります。

そういうことを考えますと、実に神戸はタイミングよく二十一世紀に向って新しい町づくり、いわゆる情報都市であり、同時にファッション都市であるという知識集約型の構造に転換して行きつつあり、これは実に素晴らしいと思いますね。

現在、神戸・京都・大阪の各商工会議所が中心となつて、ファッション産業振興懇談会が結成されて、ファッションについては関西は一つだということで推進されていますが、京都・大阪はどちらかと言いますとアパレルがどうしても中心になっている。神戸はそうじゃない。新しいライフスタイルに関連したトータルな産業をファッション産業だと言っています。さらにその上に、コンベンションシティとしての要素を加味して行っています。

河野 ファッション市民大学が開講されたのは昭和四十八年で、私もたまたまその運営委員の一人に選ばれたのですが、当時は、まだまだファッション産業とはどういうものかがはっきりとしていなかったですね。それで私自身もいろいろな講師の方のお話を聞いて、勉強させていただきました。

神戸市は従来、鉄鋼・造船という重化学工業におんぶをしていた。しかしながら、これから先は、いつまでもそれではうまく行かない。当然、産業の構造も変って来るし、神戸の将来を考えるならば、重工業にかわる別の産業が当然起こり、また、それを発展させないといけない。それには、ファッション産業を伸ばして行かないといけないのじゃないか。これからの都市型産業の特徴としては、公害がなく付加価値のある商品でなければいけない。また、当然、雇用力のあるものでなければいけないとか、いろいろと問題がありますが、衣食住に関連のある産業とは、それなりに努力すれば付加価値のある知識集約型産業となる。そういう産業が伸びなければいけないということをファッション市民大学を通じて勉強させていただきます。

日本のファッションは東京ではなくて、神戸が中心地である、というかたちに将来はなりたいたいと思いますし、ポートアイランドのファッショントアウンを一つの中心として、神戸が日本のファッションの中心地になれば、二十一世紀へ向けて大きな夢が開けて行くと思いますね。

この十年間のシューズ業界を見てみますと、四十六年が生産量においてはピークだったんです。業界全体として約一億足の靴がつくられていて、その約四十パーセントが輸出されていました。ところがニクソンショック、オイルショックなどで、輸出が現在では数パーセントのところまで落ち込んでしまっている。しかしながら一方

では輸出メーカーが国内向けに転換をして、生産量そのものは約半分に落ち込んでいますが、売り上げ高では倍に近い数字で、業界全体としては伸びて来ております。七、八年前からもう一度輸出を再開しようということ、昨年九月にもデュッセルドルフの見本市に参加したりしています。ここではわずかな数量ですが受注もありました。国内で売れている商品を展覧したわけですが、非常に好評を得ました。価格も国内価格と同じで成約できました。とくに若い女性向けのデザインは、すでに世界的な水準に達していると思いますね。

それはファッション市民大学やKF A（コウベ・ファッション・アソシエイション）を中心としたみなさんがファッショントアウンを建設しよう、神戸をファッション化しようという努力が、自然のうちに私どもの業界にも好影響を及ぼしたと言えると思いますね。

木村 アパレルが結束して、これから神戸の国際化にどこまで貢献できるかが、われわれ業界の今後の課題ですが、足下を固めながらやって来たのがこの十年ですね。

この間、KF Aの十周年パーティで、川上勉理事長のあいさつにもありましたが、生活文化産業だという意味で、ポートピア'81への参加も大成功裡に終わりました。

先ほどお話に出ましたファッション市民大学につきましても、たとえばお菓子屋さんからは、洋服屋のための勉強会かと言われたときもありましたね。

私どもは戦前から営業をしています、ほとんどは昭



鬼塚嘉八郎さん



木村 豊さん



河野 忠博さん

和三、四十年代の創立のところが多く、むしろファッションの大先輩は洋菓子や洋家具業界だと思っています。

生活文化がどうなっているかということについてのアパレルの位置づけが一番気になるところで、いろいろな業界のなかで互いに刺激を合せて、トータルのレベルが上って行くようなことではないですね。

この十年でアパレル業界の業績が順調に伸びて来たというものの背景には、神戸の市民の評価をいただいたからだと思います。市民のチェックによって神戸のアパレルが育って来たと思いますね。パンやケーキも美味しいですし、こういう食生活もバックボーンになっていますね。すべての生活に対する市民のセンスが大きなバックボーンになっていると思いますね。

鬼塚 スポーツ産業に関しては、昭和四十七、八年から高度成長の波にのりましたし、同時にオイルショック以降は健康マインドが非常に盛んになって来て一きよに伸びて来ましたね。四十七年には百六、七十億の産業だったのが、現在では四百億近くになって来ています。スポーツシューズを中心とした健康産業がすごく伸びて来ている。それはまたスポーツファッションということにつながって来る。ほとんどの国民が家庭生活にスポーツをどのように取り入れるかを考える時代で、今やアパレル産業もスポーツファッションにどんどん入って来ていますね。

河野 確かにスポーツファッションは、ここ七、八年前から急速に伸びて来て、私どもでもスポーツライフシューズをどんどん取り入れて業界としても伸びて来ました。鬼塚 神戸が中心となって全国のスポーツシューズが発展して来ているんですよ。

昭和五十二年に商工会議所が、ファッション都市づくり特別委員会を設置しましたが、特別委員会では、ファッション産業を重視して育成して行くということが一つの柱でした。それ以外には、ファッションストリートをつくって行くということ。町並みを整えて行かないと

ファッションは育たない、ということ、新開地から神戸市役所にいたる通り、さらに北野からポートアイランドにいたる通り、これをファッションストリートとして整備して行く。これについてはとくに市が力を入れてくれまして、三宮を中心として緑の町づくりが出来上って来ました。

もう一つは人材の育成に努力をして行かないといけないということがあり、神戸ファッションビジネススクール・コーデイネイターコースを昭和五十三年六月に開きました。商工会議所としては初めての試みですが、大変な好評を得ました。第二回の五十四年には、基礎コースを開講、全国から受講者が集まりました。このコーデイネイターコース、基礎コースが中心となって今後、ファッション大学をどのようにして神戸につくって行くかという大変に大きな課題を残しながら、人材育成の芽をつくり出しました。これは、神戸ファッション市民大学の開講と相呼応しまして人材育成に大きな業績を残したと思いますね。

神戸の浮沈がかった「ファッションタウン」

鬼塚 かねてKFC(協同組合神戸ファッションシティ)がポートアイランドのファッションタウン建設のためにワールドの木口会長を理事長として結成されていたのですが、ポートピアⅡが終了しました直後から活潑に建設に取りかかっています。

そこで、ポートアイランドのファッションシティ推進協議会が、進出を決定しました二十八社を中心として、結成され、ポートアイランドを素晴らしいファッションタウンにつくり上げて行くという段階によりやくなりました。今春早々には発足することになっています。

このように神戸をマザーファッション都市とするならファッションタウンを、ファッション都市神戸のなかの一つの目玉にしたいということですね。だからユニークな町並みにしたいといけない。そのためにはどういうこ

とをやったらいいかをいろいろと考えて来ているわけです。

一昨年通産省に繊維等服飾産業高度化街区建設調査委員会ができたんですが、全国でファッション都市をつくるためにモデル地区を指定して、それを研究して行こうとしています。その第一号が神戸のファッションタウンに指定されたわけです。これに神戸市と商工会議所が加わって、その調査結果が昨年の三月に出ました。

それによりますと、何と言っても知識集約型産業の拠点でないといけない、しかも、モダンタウンでなかったらいけない、同時に活性化するためには、どうしてもビルの一、二階と地階のいわゆるグラウンドレベルを開放してしまっ、一般の人が自由に出入り出来るオープンな形式の町にしないとけない。したがって卸売り街区であってはいけない。そこでは神戸の代表的なファッションが買えるという小売り機能がないといけない。そこに活力を見出して行こうということですね。

二番目に、できれば二十四時間動いている町にしたいということ。『全時動都市』としての町をめざす。

同時にもう一つ重要なことは、それぞれの建物が、それぞれの個性をもちながらも町全体そのものが一つの性格をもった町であるという、そういう形をつくるが大変に必要ないだらうか。

さらに大切なのは、今進出が決定しているのは、中堅大企業に片寄っていますが、それではいけない。ファッション産業では、中小規模でもユニークな企業がありますし、ベンチャービジネスもある。また、情報産業もありますし、デザインナーのグループとか、あるいは広告代理店とかカメラマンであるとか、そういう小さいところもそのなかに住めるような町に行かないといけない。

さらに大型イベントをどうするかという問題があります。それはコンベンションと結びつかないといけませんので、国際会議場、国際展示場、ホテルの三点セットを有効に活用しながら、世界の人を引きつける。つまりフ

ァッショントウンだけではなく神戸市のもつコンベンション構造を十分に活用しながらユニークな町づくりをしないとけないですね。

ファッショントウンづくりは大変な大事業ですが、進出企業の中味を見ますと、アパレル、真珠メーカー、家具の組合、スポーツ、食品、ケミカルなど神戸のファッション産業のすべての要素をここにもち込んで来ております。神戸の夢見ていたファッション都市が名実ともにファッショントウンのなかにコンパクトされて表現されて行くのではないかと。非常に期待をしております。

木村 マクロな話は今、鬼塚さんがおっしゃいましたが私どもも当然いい町づくりを進めますが、私どものファッショントウン進出についてのミクロなことを少し申し上げます。

私どもは今、三つのビルがあるのですが、一番困っているのはモノの流れですね。ビルが離れているので非常に能率が悪い。これを合理化することと、もう一つは、われわれファッション業界にとっては大事な展示会のできる場所を自前でもちたいという二つの要素からファッショントウンへ進出を決めました。物流の方は三年ほど経てばなんとか格好がつくと思いますし、そのノウハウを今までのビルに移して、その時点で本社機能をファッショントウンへ移すことを考えています。

また、ファッショントウンの町づくりの問題については、地域での存在意義を考えていかないとけない。具体的にどうすることが出来るかを現在模索中です。

私どもはアパレルといいますが子供服が主体ですが今、二十歳ぐらいまでの服を新たに展開をしておりますこれはまだまだこれからのことですが、赤ん坊も若者も成長するということ、エバゲローイングを目標にやりたいと考えております。ですから子供服だけでは他のみなさんと共同歩調がとれないとしても、そういう成人のジャンルもうまく育ててくれましたら、またいろいろと共同で出来るのじゃないかと夢をふくらませています。

河野 ファッションタウン進出につきましては、二つのことが要求されるのじゃないかと考えています。

その一つは、単に一企業のものでではなく、進出企業全体の、あるいは神戸市のものでなければいけないという考え方ですね。したがってグラウンドフロアを開放して、消費者の方に何か生活提案ができるようにしないといけない。家族で来ても、若いカップルで来ても、楽しい一日が過ごせる町でなければいけないですね。

“新居留地”の建設が必要

鬼塚 私どもはファッションタウンにすべての本社機能をもつて来ます。そこには当然、新しい技術を開発するスポーツ工学研究所のようなものをつくって、ウェアにしろシューズにしろスポーツを科学的に研究したい。それから情報関係のセンターをもつて来る。コンピュータの基地にして、全地域に対するコントロールを本社でやってしまう。もう一つ重要なことは人材育成センターです。それも本社機能のなかに備える。

人材育成あるいは情報センターというものはファッションタウンを活性化するために、今後一番重要な課題になると思いますね。ファッション大学についてはいろいろと案がありますが、トータルファッションというテーマにおいて、しかもニューライフスタイルを生み出して行く機能を、あのファッションタウンにつくりあげて行かないといけないと思いますね。

河野 それと神戸がファッション産業の中心地となるためには、やはりマスコミにとりあげてもらえる町づくりをしないといけないという感じもしますね。

鬼塚 それと、これはどうしても申しあげておかないといけないのは、これだけの情報都市であり、ファッション都市、コンベンション都市づくりをめざすうえで、どうしてもなくてはならないものは空港ですね。神戸の活性化のためにぜひ必要です。本当のファッションは世界の情報が集まらないと出来あがらない。ファッションを

運んで来るのは昔は船ですが、今は飛行機です。世界の人がストリートに来てもらえる空港を建設することが、町づくり到最后の息吹きを与えてくれると思いますね。

神戸は一九八五年にユニバーシアード大会を誘致し、さらに一九九六年のオリンピックをも誘致しようということですから、そういう方向へ展開して行くことすれば、当然ながら空港の問題、またファッション都市の完成は重要な課題であり、そういうことを段階的にこなして行くことによって神戸は非常に将来性のある都市構造になつて行くと思いますね。

木村 人材育成は何を差しおいても、時間はかかりますが正攻法だと思いますね。アパレルとかシューズだけに聞わず、すべてを網羅した生活文化全体に関する学校を神戸市としても強力に進めてもらいたいと思いますね。神戸にはアパレルだけでも一五〇社ほどありますが、そういう教育機関が神戸にありますと、神戸はもとより大阪や京都からも神戸で社員教育を受けさせようということになると思います。

鬼塚 明治以降、神戸が発展したのは居留地をつくって多くの外国人がここに住んだからです。だから今、二十一世紀へ向って世界の文化が神戸にコンパクトにできるように居留地をもう一度つくってはどうかと思えますね。パリ、ロンドン、ミラノ、ニューヨークなどのファッション関係の方々や学者などが神戸へ来やすい環境をつくる。今は東京に情報が集中しすぎていますから、特定の条件をつけない限りは、そう簡単に神戸へは来ないと思う。だから空港をつくることと、海外の文化人が住みやすい地域をつくることは非常に大きなテーマじゃないかと思えます。それと神戸の文化のなかで一番遅れているのは音楽、演劇ですね。それが育つ環境をつくりあげることが、ファッション都市、コンベンション都市の背景として大変重要なことです。

河野 内外の優秀な人いかに神戸に集まってもらうかその方策を考えないといけないですね。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区旅塚通 6-3-10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807
センタープラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。

話題のひろば

<II>

□ 地域からの報告

第5回全国タウン誌会議 南国の宮崎で開催



上段/左 宮崎大会開会挨拶をする笹山通実行委員長。右 長友貞蔵宮崎市長。

下段/左 第4分科会 中 小川喜八郎博士を迎えての記念講演 左 松浦定信月刊宮崎春秋編集長

57年度で第5回を数える「全国タウン誌会議」が、11月13日、宮崎市青島の橘ホテルで開催された宮崎大会（主管・月刊宮崎春秋）は北は北海道「あさひかわ」から南は鹿児島県の「タウン情報」が「しま」まで、全国60誌の代表者が出席。会議は午後1時から、笹山通実行委員長の開会挨拶のあと、各タウン誌編集長のコーディネートによる分科会形式の本会議に入った。会議は、流通販売、経営技法とこれからのタウン誌展望、編集技法、広告とその戦略の4つのテーマについて、活発な意見交換が行なわれた。地方の時代における地元に着目した第三の情報媒体として、タウン誌は社会的に認められ始めただけに、読者層の選定や組織形成、情報収集など前向きに取り組むべき課題も多い。

大会決議の総括のち、午後4時小川喜八郎宮崎大学農学博士を迎えて「人と酒」をテーマに、宮崎と地酒の学術的論議とスライドを使った楽しい記念講演。5時には、5誌編集長をパネラーに、「地域からの報告」と題したディスカッションが行なわれた。その後、懇親会には、長友貞蔵宮崎市長が駆けつけ、「宮崎の観光を楽しんで帰って下さい」と挨拶。宮崎大会は、第4回神戸大会に引き続きより実り多いものとなった。

話題のひろば

< III >

□神戸—ひと・もの・こと

「都市とデザイン」 神戸デザイン会議



写真右：基調講演する田中一光氏／写真左上：「神戸—ひと・もの・こと」をテーマにシンポジウム／写真左下：シンポジウムにひきつづいて行われた懇親会（オリエンタルホテル）

神戸の新しいまちの姿を探ろうと、11月27日第2回神戸デザイン会議（神戸デザインナイズ協会・主催）が開かれた。会場の神戸市立博物館地階講堂には、建築家、デザイナーら約140名が集まった。

基調講演では、田中一光氏（グラフィックデザイナー）が、商業主義による視覚公害を訴え、行政側の努力の必要性を強調。

このあと、宗政敏夫氏（兵庫県建築設計監理協会副会長）をコーディネーターとして、パネルディスカッションが行われた。パネラーは井上斌策氏（トータルデザインシステム代表）、藤山幸紀氏（フォラム建築研究所々長）、北島道生氏（関西大学工学部講師）、福野輝郎氏（武庫川女子大学講師）らに田中一光氏も加わった5人。「三宮へ都市の機能が集中し過ぎている点が問題。西神戸地区の地盤沈下に歯止めをかけ活性化を図ることが必要」「家庭の掘りこたつのように人が自然に集まり、コミュニケーション出来る広場が欲しい」「都市の持つ劇場性を認識すべき」などの提言がなされた。

最後に「美しく住みよい神戸の街づくりのために、それぞれの英知を結集しよう」と、2KOBEDesign宣言」を採択して閉会した。その後、引きつづいてオリエンタルホテルで懇親会がもたれた。

特集(1)座談会

●神戸とナチュラル・ライフ

美味しい自然は 地球を救う

橋本

庸平

神戸女子医科大学教授

保田

茂

神戸大学農学部助手

島

京子

作家

船木

一二

ナチュラルハウス企画部長

近年、食品汚染の恐ろしさが話題となっており、健康食品、自然食品などが注目を浴びています。

今回は、そうした自然食品、健康食品などに深い関わりをもっておられる方々にお集まりいただき、それぞれの分野から、お話を頂戴したいと思います。

★だんだん広がって行く自然食品

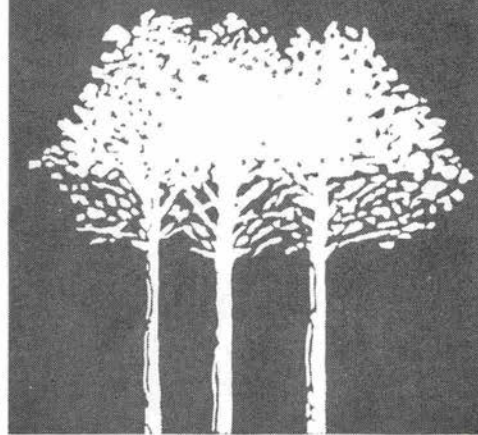
保田 私は神戸大学の農学部で有機農業の研究をしております。あまり良い日本語とは思えませんが、私達は主に有機農産物という表現をします。つまり、有機農業でできた産物というわけですが、こうした農産物を求める運動が起ったのは、全国的にみて'71年(昭和46年)頃で、有機農業研究会というものが東京中心に結成されて、

それがひとつのきっかけとなって始まったと考えてよいでしょう。

その背景は、やはり'70年頃いっせいに問題化した水俣病やカネミライスオイル事件などの公害で、農薬の害が広く私達に認識されるようになったからです。そこで食物の汚染から国民の健康を守るために、また一方では、農地が段々荒れる傾向が出ていたので農地を大事にして生産の安定をはかるという両面から、有機農業研究会が発足しました。それから約10年たち、各地で生産者と消費者の関心が高まってきて、全国的に有機農産物の産直運動が広がっています。しかし、例えば神戸市内を見ても、人口約130万のうち、有機農産物を共同購入しているのはおそらく2~3000世帯位でしょうね。

私も時々ナチュラルハウスを利用していますが、そうした人を含めても全体的には多くないと思います。現在では、かなりマスコミにもとりあげられるようになっていますが、まだ一般の家庭ではそこまで真剣に考えられていないというのが現状ではないでしょうか。

島 今、保田先生が自然食品などが注目されるに至った背景を話されましたが、農薬や添加物の生産量の増加傾向は、実に腹立たしいですね。添加物の生産量を例に上げますと、昭和57年は昭和35年の300倍になるそうです。農薬も同じように生産量はどんどん増えているようで、農薬依存の農政が目に見えますね。ものごと何でもそうですが、行くところまで行く、自と反動が起ります。こうし





橋本 庸平

た自然食品や健康食品を求める動きも、その反動と考えていいでしょうね。

橋本 私は神戸女子薬科大学で生



保田 茂

薬の研究をしておりますが、人類には何千年という歴史のある食物や薬品があります。歴史のある食



島 京子

物は結構ですが、今まで人類が食べていないものは、十分注意して欲しいと思います。



船木 一二

保田 食品添加物についての問題

意識も、やはり有機農業運動が起って、従来の価格問題中心から、「質」の問題、特に安全と栄養という点に意識が移行しはじめることによって発生してきたと考えられます。許可基準についても、厚生省サイドではかなり厳しくやっているという事になるのでしようが、庶民レベルから見ると、長く食べ続けた場合どうなるのか、またその子どもにどんな影響を与えるのかという問題などは、あいまいで深刻にならざるを得ません。

★自然食品には長い歴史がある

保田 日本での農薬は、戦後の食糧難を一日も早く解消したいという農林省側と、生産力を上げて収入のアップをはかりたいという生産者の思惑が相まって普及していったわけですが、昭和28年頃には大々的に農法の中に取り入れられるようになっていました。

島 えつ、すでに昭和28年頃にですか？

保田 ええ、その頃には稲作の病気と害虫は農薬で防除できる態勢が確立したと考えてさしつかえないでしょう。そして、昭和30年には史上最大の豊作となり、食糧難も一気に解消していくわけです。その背景には農薬があったという事です。その後暫くして、水銀農薬な

どが次々禁止されていき、比較的分解が早く残留しない農薬に切り替っていくわけですが、分解が早いという事はききめがうすいという事です。今度は使用量が増えるという現象が出てきます。極めて皮肉な事ですが、有機農業への関心が高まり、農薬に対する国民の意識が向上すればするほど、先ほど島先生がおっしゃったように、農薬全体の生産量も増え、またその使用量も増加し労働量も増しているというのが現実なのです。

橋本 私の所は女子薬科大学ですから、学生達によく「行政というものには食品公害、薬品公害から決して守ってくれない。君達は身を守る学問をしているのだから幸せだ」と言います。

島 本当に自衛するしかないですよ。さっき、橋本先生が歴史のない食物は要注意とおっしゃったけれど、化学薬品には歴史がないですね。素人考えですが、そんなものをどんだん体内にとり入れて行って、健康に良いわけがないと思いますね。

橋本 アメリカでは食物も薬品も同じだという考えで、同じ役所が取締っています。

★高まる自然食品への関心

船木 お菓子のコトブキという会社、何故ナチュラルハウスの仕

事を始めたかについて、少し話させていただきます。

まず企業の将来という問題があります。つまり今後「甘さ」に対して消費者の動きが出てくるだろうと予想して、では「甘さ」の嫌いな人は何を望むかという事を色々考えました。

その中に全く正反対の仕事ですがナチュラルハウスの発想がありました。

2年間の調査の結果、最終結論として、53年12月に東京の自由が丘店をオープンさせました。やり始めて、この仕事の社会的使命がよくわかるようになりました。

今は、利益を上げること勿論考えてはいますが、それは私達が行おうとしている事を社会の方々に認めて頂けるという大前提のもとで、為しうると考えています。現実の発想は商売かもしれませんが運営面ではそうした考えの上に立っています。オープン後の反響について申しますと、お客様は確実に増えています。そして例を上げるとよくわかっていただけるかと思いますが、洗剤を買われたあるお客様にその理由を尋ねた事があります。すると「今の洗剤は海まで行っても分解しないで、地球を汚すように聞いている。この洗剤ならそういう事もなさそうだし、私一人だけでもこれを使えばいい

んじゃないかと思って」と答えられました。大変感銘を受けました。

またある年配の主婦が、ナチュラルハウスの卵が食べられないとおっしゃるんですね。理由は、子どもの頃は卵が嫌いだったのが、ある時期から市販の卵が食べられるようになった、しかしこの卵は子どもの頃嫌いだった卵と同じ味がするという訳です。この例も消費者の意見ではないかと思えます。

ナチュラルハウスのトマトは大小様々で、キュウリは曲っています。開店間もない頃のお客様は冬にトマトがない、キュウリがないと不評でしたが、そうした原点で消費者の方とお話をし、自然食品に対する理解を深めていただきました。最近では大変よく勉強されていますが、ただ日本人が持っている本当の食文化というものは忘れられているような気がしてなりません。動物は親が食べるものを食べて生きるわけですが、今や我々は親さえも食べなかった物を食べているという現状は、大きな食文化の乱れであると思います。

橋本 私は漢方薬について専門に研究していますが、最近はかなり話題を呼んでいるようです。漢方薬には、有毒植物も入っています。幾つかの生薬が混ぜ合わさって相互に解毒しあっています。例えば発ガン性などが無いようにう

まくカバーしあっているわけですね。人類が大昔から食べているものを専門的に研究すれば、漢方薬のようにうまくカバーしあっていることが、きつとわかると思います。漢方薬には、何しろ4000年の歴史があります。自然食品といっても歴史のないものは、気をつけないといけません。また食べられるものでも量に限度がある場合も考えられますので、十分注意する必要があります。中国の漢方は、長い長い歴史の間に試行錯誤を繰り返しながら、食べていいもの、薬になるもの、有害なものを分けてきました。分析化学が発達して素晴らしい事が色々わかってきたのですが、漢方薬は2つの薬が合わさって効力を例えば5倍にするような、所謂相乗効果があるんですね。私は、食べ物もこうであるべきだと思います。

船木 橋本先生のお話は、実によくわかりますね。ナチュラルハウスの「食」についての考え方も、先生とは理解の深度は異なるかもしれませんが、同じです。有毒なものもあれば、毒を制するものもある。しかし、一緒に食べることにより、良い作用をするという考え方です。そこが、化学薬品、化学食品との大きな違いですね。

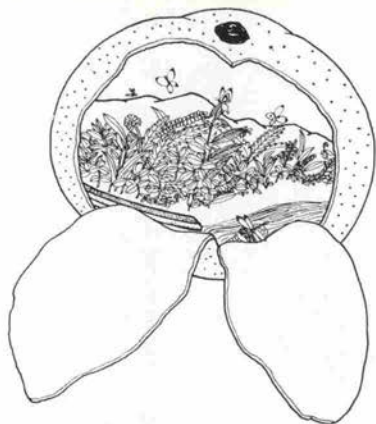
★食文化の重要性を認識しよう

保田 以前は生産者の絶対数も少なく、消費者が集まって組織を作ってもなかなか供給してもらえなかったが、現在では有機農業にとり組んでみたいという声を随分聞くようになりました。ですから消費者が食物の重要性をもっと認識すれば……。

島 今は大勢の人が健康に関心をもっていて、そういう人が年々増えています。ただ食品については詳しくは知らないですね、皆さんは。

船木 今、教育の問題を考えてみても「食」の教育をする機会が殆んどないんじゃないでしょうか。親元を早く離れてしまい、いわゆる親のもつ食文化を吸収できない

美しい自然で育った
おいしい食物



という事もあります。本当はその辺から考える必要がある様に思います。

★自然食が地球を救う

島 先祖代々が食べてきたものを食べ、食べなかったものは食べない、ということですね、結局は。

橋本 人類が長い間かかって試行錯誤の中から作り上げたものが、漢方薬や献立といえますね。

船木 最近、段々地球の自然の体系が崩れつつあるような気がします。大きな話になるかもしれませんが、自然食が地球を救えるような気がします。

島 生産者側にも農薬による病気が広がっていると聞きますが、そのようなデータをかくさずにもっと発表すべきだと思います。

保田 食物による被害をうけやすいのは、成長盛りの子ども、そしてお腹の中の子どもです。彼らに私達大人が経験しなかった健康障害が発生しています。これをかくす事は将来に災いを残すことになります。これは、一般の家庭の両親も考えないといけません。つい私達は、食物の安全というと自分を基準にして考えがちですが、食物は男も女も

お年寄も子供も、そして病人も食べます。その食物がいいか悪いかは、一番弱い人を中心に考えるべきです。成長盛りの子どもにとって今の食物がどういう意味をもつかを真剣に考えねばなりません。

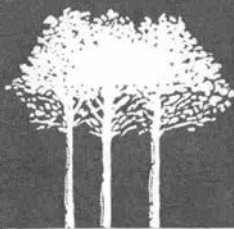
船木 動物の世界ではその種族が増加しすぎると、自然淘汰される例があります。原子力や排気ガスの問題もそうですが、食品添加物なども人類淘汰のために作られているような気がしてならないのです。そう考えていきますと、食物はどうあるべきかという問題に対する答が出てきそうに思います。私達は、前にも述べましたが、商売である以上利益を上げたいと願うことは事実です。しかしそれは、ナチュラルハウスが社会の中で重要な役割を与えられ存在するから利益が出るといって、基本的な考えに立脚した上のことです。ナチュラルハウスも大きくなって、たくさんの方に、よりよい食品を手近に買っていただけるようになりたいと思います。そのためには、その商品は誰が考えても納得がいくということを前提にしなければなりませんので、こういう機会に色々な方からご意見をお伺いして、皆様方から存在価値を認められるお店になるように努力したいと考えています。

特集(2)ミニ・ルポ

■神戸とナチュラル・ライフ

美味しい自然に アタック

無農業、無化学肥料、有機農法などによる「自然のままの食べ物」が、さまざまな方法によって、神戸近郊の各地で生産されている。そして、それを利用する人たちの応援グループがある。美味しい「自然」を求める人たちの活動にアプローチしてみました。



★農業生産法人 ふえろうつ村

□連絡先 小野市脇本中溝井401 (小野市
際ゴルフ、グリーンピア三木近く)
07946 (7) 0903 華房 良輔

「捨てる物は何ひとつない」限られた地球の資源を最大活用し、自然と共存しうる生活をと、本来は「自給自足」をめざすコミュニティだった。メンバー7人がそれぞれに自主管理し、生産物は須磨や



完成した宿舎と農場周辺

鈴蘭台、小野、三木などの希望者へ定期的に安価で配送している。

昨年の春から、現在の農場移転のための伐採作業と宿舎基礎工事に入り、10月末、廃棄物などによる建材で全員総がかりによる鉄筋ビルが完成。農場総面積は約2ヘクタール、産卵鶏800羽、肉用鶏200羽、アヒル100羽、肉牛20頭、乳牛7頭、豚60頭、山羊5頭、兎100匹、七面鳥4羽、孔雀2羽、馬2頭、シイタケ2千本、養蜂30群などや有機農法による野菜、水稲を生産。

□冬には中学生の農業教室を開講(食費実費のみ)希望者募集中/また社員研修など団体の利用も可(食事は鴨ナベ、バーベキュー)

★ヤマギシズム生活北条実蹟地

□連絡先 加西市北条町東高室404の1(加西
フラワースタイルすぐ近く)ヤマギシズム生
産物神戸供給所 07904 (2) 0494

北海道から九州まで全国的組織「山岸会」(本部三重県)の神戸支部。「幸福な社会は幸福な人によ

ってしか作り得ない——金のいらない楽しい生活」をめざすヤマギシズム生産物神戸供給所(代表者荒瀬崎次さん全員54名)の下間徳夫さんにお話を伺った。

養鶏を例にとれば、本来、鶏も一つの生き物なのだが卵をより多く産ませて商業ベースにのせてべ



牛舎の前で、下間さん(右)

イするために、薬を飲ませて産卵率を高める。大量産卵の結果、瘦せて不出来の卵を産むのを防ぐ目的で再び補助薬を飲ませるといのが現状。ここでは、鶏の自然の生理に合わせた養鶏法を用い、それを食べる人間の体内にも自然の摂理として、正しい循環が行なわれることをめざしている。牛や農作物も同様に生産している。

□実習生募集 2週間以上ヤマギシで作業を一緒に行ない、楽しい共同生活を体験してみませんか。夫婦、単身、家族歓迎(無給)

★鷺林寺 藤井さん

□連絡先 西宮市柏堂町8ノ33 藤井健太郎
(0798) 71-80003

藤井さんのお宅は阪急苦楽園口駅から坂道をバスで約8分、柏堂町で降り10分程歩いたところ。

畑は家の近くに約五反あり、野菜の品種は八百屋さん並みとか。

農業はこの地で二代目だが、無農薬の有機農法は始めてまだ六、七年。それ以前から興味はあり、講演会にも顔を出していたが、直接のきっかけはサラリーマンとの兼業時代に健康を害したことによる。

そのうち、消費者グループ「あけぼの」から連絡があり交流が始まる。現在は6グループ、約80軒を受け持ち、配達は週4回、午前中に収穫し、夕方約一時間で配り終



畑で農作業、藤井さん夫妻

わる。堆肥(糞尿)や油かす、ワラなどの供給量が少なく、割高になりがちなので、自前で賄いたい。が住宅地のため臭いの問題があり頭を痛めているという。それでも野菜に虫がつく、草がはえやすいなどは消費者グループの援農で大助かりだという。あくせくしない生活、つまり自然流ですね」と語るご主人と奥さんの範子さんの顔はとてもさわやかであった。

★有機農業による生産物をひろめる会

□連絡先 平654神戸市須磨区北町3ノ6
22 高阪邦子 734-4020

健康に暮らしたい、子孫に悪影響を及ぼしたくない、つまりは生命を大切にしたいとの動機のもとに会が運営されてきた。阪神間に23グループ、会員数約370人。発足は55年4月だが、それ以前の活動歴の人もいる。



グループ代表者による定例会議

会の特色は①主婦だけのグループである、②世話人はいるが民主性を重んじるためリーダーを作らない、③機関紙「ひろめる会通信」を月一回発行して会員との連絡を密にする、④各グループの代表者が月一回定例会議を開く、など。

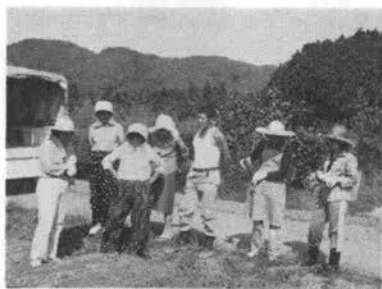
会の購入先は兵庫県氷上郡市島町の農家、約30世帯に限定しているが、生産を手伝う援農も盛んだ。今後は若い女性の参加や学校の家庭科の先生に働きかけたいとしている。ある主婦などは自然野菜パーティを開き、近所でなかなか好評とか、また別の主婦は8年も続けており、二人の息子は自然食で育った、まさに「自然児」であ

る。ブームと片づけられない実が結ばれつつある。

★食品公害を追放し、安全な食べ物を求める会(略称「求める会」)

□連絡先 神戸市須磨区山田町3丁目1-11
神戸学生青年センター内 822 0810

「求める会」が生まれたのは8年ほど前。当時は食物の安全に関心を示す人も少なく、ささやかな共同購入運動であったが、現在では1300世帯に成長した。野菜類は市島町有機農業研究会(氷上郡)から週一回トラック輸送されてくる。定期的に援農も行われ、生産者との結びつきを深める活動も続けられている。主婦にとって週一度配達の作業は大変であろうと想像するが「命を守るためです。自分生活の仕方を改めない」と。自分だけの問題にせず周囲の人に伝えて欲しい」ともの静かに語る山崎延子代表の人柄から、じつくりと運動に取り組んでいる姿勢がよくわかる。他に別所ファームから卵ゆずるは有機農業研究会からみかん類を購入。



市島町での援農

私のベスト・コンディション

Q&A

Q1、あなたと自然食などとの出会いは？

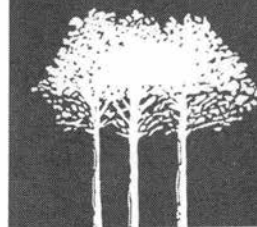
Q2、何をどんなふう利用されていますか

Q3、その効果などについて。

Q4、あなたのキャリアなど。

Q5、これからチャレンジしてみたいこと、または、アドバースなど。

(A||答え)



★高橋 嘉子 (38歳) 主婦

A① 新聞に連載されていた有吉佐和子さんの「複合汚染」を読んだ、私達の知らない所で大変な事がおこっているのを知りショックを受けた。また私自身が疲れやすい体質であったこと、子どもが小さかったのでその将来を案じたことなどがきっかけです。



A② 野菜が中心ですが、それ以外にも鶏卵や豚肉を購入しています。

す。季節により入手できない野菜もあります。食生活に必要な野菜のほとんどを有機農産物でまかなっています。

A③ 以前ほどは簡単に疲れなくなり、体質改善したように思いますが、何よりも美味しい事が魅力です。子どもの頃食べたトマトやキュウリと同じ味がするんです。嬉しいですね。

A④ 約6年です。

A⑤ 農産物だけでなく、海産物などにも手を広げたいですね。とにかく楽しくやりたいです。(談)

★伊藤 敦子 (26歳) 貿易会社勤務

A① もともと乾燥肌なので油性の化粧品を使っていたんですが、そばかすやシミができてやすく、友人の勧めで自然化粧品を使っています。ネイチャーというアロエを用いたブランドの基礎化粧品、ボディーシャンプー、ヘア用シャンプーやリンス等です。

A③ 色素が入っていないので、まず安心して使えます。何となく肌がツルツルしてきたように思いますが自己満足かも(笑)



A④ 約5年 勧められてヘチマコロンやレモンパックアボガドの化粧品などいろんな物を試します。A⑤ やはり表面だけでなく、内

面から改善する必要があると思います。食品では自家製ヨーグルトや豆乳が私に合っています。ビタミンCも錠剤で摂取し、体を動かすことが好きなのでエアロビクス体操も始めました。体が資本ですから良いと思うことは積極的にとり入れています。(談)

★井原 静江 (69歳) 主婦

A① テレビで病気で立てなくなった牛や豚の肉が、市場に出ているのを見たのです。それを食べているのかと思うと恐くなったのです。

A② 有機野菜、北海道から購入のよっぱ牛乳、この牛乳は普通と違い殺菌温度が低いので乳酸菌が生きています。他に玄米、無添加の調味料など。

料理研究会を開いて色々工夫しています。料理手帳も作成して、配ったりもします。



A③ いつも気分がさわやかですね、まるで血がきれいになったみたい(笑) 便通もよくなります。

A④ 10年になります。

A⑤ 自然食という言葉ね、あれ嫌いなんです。商業ベースに乗った言葉でね。

私としては自然のままの食物としたい。

そして賛同してくれる消費者が増えてくれば、企業も農家も生産せざるを得なくなると思います。

★小林 真弓(37歳) 主婦

A① 自然食という表現は抵抗がある、より安全な食物についてということで答えます。数年前瀬戸内海を渡った時、発泡スチロールが浮き、どす黒く赤潮が発生して合成洗剤などによる公害を、実感している考え出してから。



A② 野菜・牛乳・果物・肉・卵・基礎調味料・粉石鮫などを定期的に

に共同購入。旬の無農薬野菜を用いた献立で、"畑に合わせた台所"という言葉につきます。

A③ 玄米を一年食べることによって接触性皮膚炎(手)や足のひび割れが治りました。

A④ 4年8カ月

A⑤ 現在ほど食べ物への関心が高まっている時はないが、これをファッションで終らせてはいけなく、食べ物と消費を再検討し、一人一人が真剣に自然な生活環境と人間の世代を越えた健康づくりを考え直すことが必要ではないでしょうか。

★大里最世子(デザイナー)

A① テニスをしている時に腰を痛め、中国鍼に通っているうちに食事の好みが変わって、ちょうど自然食の本を読んで直感的に、これだ!と思い、自然食に切り換えた。

A② 主食を小豆、ハトムギ、玄米の三種混合の御飯、副食を有色野菜、根菜類、豆類を紅花油で、



天ブラ、煮物と自然素材を生かした調理法で、自然の中に生きているように食卓に並べるように工夫しています。また、2年前からビタミンCとEを愛用しています。

A③ 少し増え気味だった体重が3キロ減り、甘い物が欲しくなくなり、便通がよく、無駄なものを口にしなくなったこと。有색野菜に恋したように燃えています。仕事上も精神的にも虚飾性が消えてお化粧もなくなったことです。

A④ 9カ月

A⑤ 身体内を美しく浄化させてそこから湧き出る精神を、美しい服飾作りに注ぎ込み、魅力溢れる作品を着る人に肌で感じてほしい

★中西 咲子(54歳) 随筆家

A① 主人(中西勝馬伯)が「土から生まれるもの」が好きだったので、自家栽培を手伝い始めたこと。

A② お店で買えない生鮮さが大切な野菜類を自宅で作る。中国野菜やラディッシュ、茗荷、ウド、あらゆる葉の種類の種をプランタンに厚蒔きにし、発芽後二つ葉の時期のものを抜き、朝食のサラダに用いる。庭木も、花梨、柚、サクラランボ、フエジョウなどの実の食べられるものを植えています。



A③ 農作業の土とのふれあいと体を動かすこと。植物の発芽の折

に生命の息吹きと自然の味と香りに、たとえようもない解放感を感じます。自分の手で苦労して作ったものを自分で調理する、自然のありように従った生活は自ずと健康な生活につながると思います。

A④ 25/26年

A⑤ どんな器でもよいから、種を蒔き、②の方法で自家栽培をすることを勧めます。自家製のグリーンサラダは最上の美食です。

来條 禎介(58歳)

(株)MGCコーベツリスト専務取締役

A① 永年、自然農法を提唱している世界救世教に入信したのが直接のきっかけ。野菜本来の味を知りすっかり惚れ込んできました。



A② 米はもちろん各種野菜、調味料など、教団が母体となっている会社の商品。料理も自然調味料を使う。また、普通捨てられていた米の胚芽や果実の皮など必ず食べるよう心掛けています。

A③ 昔は胃が悪く、カイ瘍寸前まで行ったが自然食を食べ始めてからは胃のことなど忘れてしまった家族も医者に行った事がない。

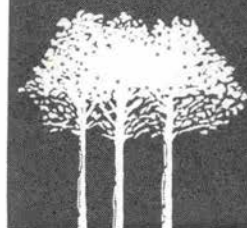
A④ 20年以上。

A⑤ 本当の自然食とは、汚れない大地に農薬も肥料もいっさい使わず、自然の理に適った農法で栽培された作物を指すと思う。健康食・自然食ブームもけっこうだが、食べ物への感謝の気持ちがあれば真の健康は望めない。

特集(4)ルポルタージュ／ナチュラルハウス神戸店
 ■神戸とナチュラル・ライフ

おしやれな 自然の広場

嘉納純子(コピーライター)



実にファンを増やし、東京に3店
 関西に2店の支店を持つ、今や
 売れっこの(ナチュラルハウス)／
 「ニューミセスと言われる女性の方が多いですが、最近男性ファンも増えましたね」と、スタッフの橋本厚司さん。

いくら体のために良いと言われても、おいしくないものを毎日食べて生きていたとは思いません
 「人間、一生の食事の数が約8万回だから、日々の食事をせいっぱい楽しみたい」というほどの食いしん坊ではありませんが、珍しいものやおいしいものを食べることは、やっぱり喜びのひとつですもの。

でも「おいしいな」と感じることもできるのも、体が健康だからこそ。だから私は週に一度はこの(ナチュラルハウス)へ買い出しにやって来ます。そして今日はノートを片手の取材。

3年前にオープンして以来、着

そう言えば、今は世をあげてのシェイプアップ時代。健康スポーツなるものが大流行ですが、そのための体を支えているのが、他ならぬ「食物」なのです。外側を鍛えるだけでは片手落ち。内側からも体を磨いてやらなければなりません。

自然食という、今までは何やら固苦しいイメージがありました。ナチュラルハウスは広くて明るく、ちよっとオシャレなフードブティックという感じ、バスケットをかかえて、のびのびとショッピングができます。

「飛び込みでジュースだけを買う

に來られるお客さんも多いですね。当店のジュースは無農薬の野菜、果物だけを使っていますから」
 そしてジュースについて、その辺りの自然食品を見学、もの珍しさも手伝って衝動買い。それから自然食党になってしまったという男性や女性も多いとか。

「食生活を変える時は無理をしない方がいいですね。私も、まず調味料からおすすめしています」
 たしかに私が初めてナチュラルハウスで買ったのも、そんな基礎調味料でしたっけ。

ミリン風調味料に醸酢、砂糖、塩、だしの素。

知ってました？ 一般のだしの素はカツオの味をつけた単なる化学調味料だってこと。

そして砂糖、上品に精製されたものは栄養分ゼロの(鉄分やミネラルなしの)ただの炭水化物なのだそうです。

次に塩ですが、最近のものは大抵、成分の99%が塩化ナトリウム。天然にがりを残した塩の方が料理の味もぐっとひきたちます。



只今、爆発的のヒット商品の豆乳です。ぜひ一度お試しください。とうふ120円、豆乳75円。

と、ナチュラルハウスの自慢は、野菜や肉などの生鮮



筆者が興味深い調味料売場で。右は企画室主任の橋本厚司さん。

品だとか。「種類が少ないように思われがちですが、スーパーと同じだけは揃っていますよ。ただし、季節の旬のものしか置いていません。ほら、トマトやナスはないでしょう。無農薬の野菜ですから高いものもありますが、葉っぱ類がかなり安い。平均すると、よそと変わらないと思いますよ」

特にホウレン草が気に入りました。根が付いているので、水につけておくとしおれないのです。

「豆腐も安心ですよ。無農薬の丸大豆100%のもので、天然にがりを使得固めています。消泡剤や防腐剤はいっさい入っていませんし…」

肉類もたくさんあります。自然放牧（つまり土の上をトコトコ走りまわって育ったもの）で、エサも有機牧草。蛍光灯の下で色が鮮やかに見えるような不自然な加工もされていません。

その他、植物原料の化粧水やシ

ャンプー、メイクアップ用品、お菓子に活水器etc. 商品をひとつひとつ手に取って説明を聞いていると、びっくりした感じがしました。『食物について知らない』ってことがどんなに恐いことかをつくづく実感しています。

添加物や

農薬の恐ろしさに気付いていても、ふだんの生活ではいついっ忘れがち。ナチュラルハウスへ足を運ぶ回数、また増えそうな心配です。



自然化粧品コーナーで

この店のスタッフの良いところは、「この商品は私もまだ十分には信用していません。こちらの方がおすすめできますね」といった、品物についての正直な意見を聞かせてくれるところ。かといって押しつけがましくもなく、気軽に相談のつてくれるのです。

「病は気から」と言いますが、人間の体を作っているのが食物なら、「病は食から」とも言えるかもしれません。一生つき合っていくかなければならない。たったひとつの自分の体だから、もっともつと食物に気をつけて大切にしたい。

最初から「自然食を実行しよう」などと大上段に構えるのではなく、自然食品の中から好みのもので選んで、ひとつ、またひとつと試してみる、そんなソフトな楽しみ方もあるのじゃないかな？

★ヨーロッパの街角をステンドグラスで創る

ステンドグラスのカラフルな美しい光で、ヨーロッパの街角が創られ、神戸ワシントンホテルの二階で、10月29・31日に作品展が開かれた。主催はパティオ（ヌーベル六甲2F）8514010の四木賢一さんが開く教室の皆さんで、教会あり、車庫あり、風車の廻る家ありでその色彩の鮮やかさは実にK O B Eらしく美しい。



メルヘンな雰囲気うっとり

た、ステンドグラスの光の街にメルヘンな手づくりの心暖まる作品展だった。

★ドラマチックな神戸ドレメの「秋冬ショール」

第30回を迎える神戸ドレメ・メーカーク学院（福富芳美院長）のファッションショーが、82



今年注目のコスモスルック

秋冬ドラマチックな、10月30日、11月31日と2日間わたって開かれた。今回はアビエター、ミタリー、レーサー、カン、インカ、ベル、日本ダンディ、スコットランド、ハリウッド、貴公、パロック・ロランドなどのグループ作品にわけて非常にいきいきとした個性的な作品を発表し、見ごたえのあるショーとなった。「デザイン、製作はもとより発表のすべてを学生自身の手で構成しました」とのことだが、さすがが神戸のファッション時代にかかわる生徒達の作品も技術も高度化してきたことは喜ばしい。

★花の宇宙宙「エツ・ミモザ・グループ」

エツ・ミモザ・グループ（佐藤悦枝主宰）華やかに



花に囲まれた佐藤さん

の展示会が、11月5・6・7日に生田神社会館で「花の宇宙宙」をテーマに開かれた。小さな花たちのファンタジックな世界、野原にある荷葉に隔る光浴びて咲く花、生田の森の幻想的に語りかける、オリジナリティの独自の世界は佐藤さんならではの個性である。エツ・ミモザグループ/中央区山本通5丁目5-13-303 電話35110787

★ダフネアセサリー

第1回コレクション神戸で発表

水晶、珊瑚、七宝焼などに流行性を持たせ現代に蘇らせたハンドメイドのファッションジュエリー「ダフネアセサリー」が、今春よりパリ、ニナ・リッチブティックで販売されることになった。



小林志郎・桂子夫妻

発表会が11月11日、神戸ポートピアホテルで開かれ、小林桂子さんデザイン作品、約30点が展示された。今回の特色は日本の伝統技術を探り、日本人の感性をアクセサリの中に盛り込め、伊万里や伊賀上野の組紐が新鮮な感覚でデザインされていた。「少し愛して、長く愛して……、というように飽きがこなく長く愛して頂けるもの」と小林さんは、流通機構を省き、値段も手頃だ。神戸では、チャーム岡本、ボルド（元町）、ニナ・リッチブティック、ポートピアホテルで扱っている。

□メルゾ店 電話03・404・9500

★長浜律子「花とあかりのニューライフ」展

開く。リッツフロアを主宰する長浜律子さん（灘区篠原北町三丁目五ノ九）が、11月18日から22日迄さんか広場にて「花とあかりのニューライフ」と題したアートフラワーフェアを開いた。今回は神戸ヤマギワのあかりと

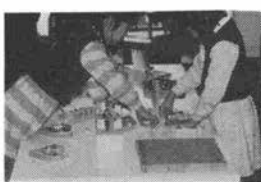
永田良介商店、インテルナナきたむらの家具との出会いによる企画で、「花のウエディング」「ニューサティの庭」「光の花」「銀花の部屋」など、



夢見るようなインテリアコーナーづくりも力作がそろい、チャリティの花のコーナーと充実した展示会で人気を集めた。

★「木のおもちゃ」をテーマに作品展

ギャラリイ住吉倶楽部（東灘区住吉町）で11月25日から2週間開かれた「木のおもちゃ6人展」は、加藤裕三、河崎晃一、窪田謙二、煙山泰子、宮地葉子、山口マサル氏ら、木の作家6人のそれぞれ違った作風のものをもとに集めたというユニークな企画で話題を呼んだ。休日には子ども達も訪れ、眺めるだけでなく触って「楽しく不思議」な世界を味わっていた。



木のあたたか味は子供にも人気

2年目を迎えたギャラリイ住吉倶楽部は「これからも質の高い作品展を開き、息の長い活動をしたい」と意気盛んである。

★花をテーマに独創的なアイデアを

「ハナ・はな・花」（市田都弥子主宰）のグループ展が11月17日、神戸ポートピアホテルのつじの間で開催された。草月流の生花とアートフラワー、パンの花等60点余が飾られ、会場は花畑のよう。パンフラワーは飾られるに比べて重厚味があり、写実的な作品の他、個人のアイディアがいかにユニークなアイデアや壁かけ、絵画等どれも花をテーマに力作揃い。



みんな花が大好きです

自作のパンのアクセサリが光った人もいた。



NEW YEAR MESSAGE

扉をたたくのはだれ?

●
はじまりの予感
長い闇のなかに、もう潜んでいる
真新しい光をすくいとって
佳人は、歩みはじめる。



serizawa

■本店 神戸市中央区三宮町3丁目1-8 TEL.(078) 331-1695

■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

●KOBE EXCELLENT SHOP 《永田良介商店》

神戸ライフを支えた欧風家具



オリジナル婚礼家具



後列右より永田耕一取締役、永田典子さん、安田謙取締役営業本部長、前・永田良一郎代表取締役

「居留地にいた外国人が帰国の折に残っていた洋家具を扱うアンティークの店を始めたのが基礎です。」

●創業は「明治5年、今年で111年めを迎えます」
●神戸家具の草分けですがその歴史を

代目が昭和4年に、独のベルリンへ留学して欧州、北欧の家具を実際に研究して帰神。いわゆる模倣から離れてオリジナルな神戸家具が生まれていったわけです」
●永田良介商店の特色は「欧風家具の伝統をふまえて日本風にアレンジしたことです。初代から家具だけでなく小物に至るまで室内装飾を考えたインテリアコーディネート役割を果たしていました。手づくり家具だから耐久性も良く、親子3代で続けて使っている神戸っ子も多いですよ」

謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします

ハイカラ神戸の
伝統が育んだ
格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBÉへの私たちの願いをこめて・・・

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737～9

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★オートクチュール

アスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1813

★世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBÉ LINE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★よろず御禮衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ディック

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707



欧風家具の伝統をふまえて日本風にアレンジされたオリジナル応接セット

1983
A HAPPY NEW YEAR



おかげさまで“あきら美容室”も30周年の記念ヘアショーを開き暖かいご支援をいただきました。

これを機会に“あきら北野店”は西野明・笑子の店として、アダルトでエレガントなヘアサロンに。

新しくオープンいたしました“あきら神戸店”はニューヨーク・ロスの“カサンドラ2000”で修業してきました長女の西野順子がトータルアーチストとしてフレッシュにデビュー。

また“あきら仁川店”は次女の西野みどりがチーフアーチストとして若々しく受けもっております。

各店がより神戸らしく、いきいきとリフレッシュして、個性的な花を開きます。ぜひお出かけ下さい。

トータルファッションサロン
AKIRA KOBÉがデビュー



BEAUTY SALON
AKIRA

AKIRA (北野店) 西野明・笑子
神戸市中央区北野町 3 丁目 6-17
TEL. (078) 221-9080

AKIRA (神戸店) 西野順子
神戸市中央区三宮町 2 丁目 9-10
TEL. (078) 331-4461

AKIRA (仁川店) 西野みどり
宝塚市仁川北 2 丁目 6-10
サンローゼ仁川 2F
TEL. (0798) 54-0544

	西野 明	西野 笑子	西野 順子	西野みどり
カット	¥ 6,500	¥ 4,500	¥ 4,000	¥ 2,500
カラー	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ 800
パーマ	¥ 14,000	¥ 11,500	¥ 7,200 ¥ 8,500	¥ 5,100 ¥ 7,000
毛染	ウツ、ブロー込 ¥ 13,500	¥ 11,000	¥ 3,200 ¥ 4,500	¥ 2,200 ¥ 3,600
セット	ウツ、ブロー込 ¥ 3,700	¥ 2,700	メイク ¥ 2,500	着付 ¥ 3,500
	あきら北野店 AM9:00-18:00 (月)~(金)第3月・大連休 予約制 会費の方は5000円付せ ていただきます。	あきら北野店 AM10:00-17:00 (金)曜のみ神・仁川 予約制	あきら神戸店 AM10:00-19:00 毎日曜休 予約制	あきら仁川店 AM9:00-18:00 毎大曜休

'83セゾン・ド・あきらヘアショー

あきら30周年を記念してポ
ートピアホテルで華やかに。



西野明のヘアデザイン



お客さま土井たか子さんのスピーチ



フィナーレ



フェミニンなヘア



メイクする西野順子



きものヘアとウェディング



花に囲まれたスタッフ



右は西野明と左は娘の順子が
仲良くあいさつ

HAPPY 1983



おしゃれさん・あつまれ!

Christian Dior

OLGA Barbara

Courregès Maidenform

Perèle marvel *la PERLA*

LOU lejaby

Lovable *Vassarette*

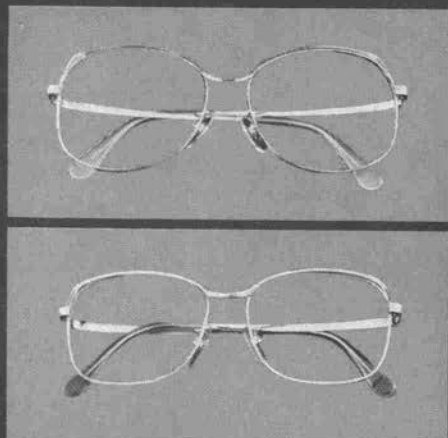
Triumph Wacoal 他にも
ブランドはいっぱい! どうぞよろしく!

Tabifuku

センタープラザ西館2F
センタープラザ2F
さんプラザ3F
メトロこうべ・神戸タウン
ローソン柳原店

078-332-3500
078-332-2767
078-391-3720
078-341-0439
078-576-0330

A HAPPY NEW YEAR '83



スリムでエレガントなシルエット
フロントに18金無垢の新しい感覚

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表
三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

耳のよきパートナー

補聴器オーディオルーム

専門コンサルタント担当

- 防音室で聴力測定・補聴器微調整
- 耳穴にフィットする耳栓型取り

※補聴器は元町店で取り扱っています。

謹賀新年 刀剣 古美術



毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

刀剣の **元町美術**

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081